

討議年月日: 令和 6年 3月19日

公表: 令和 6年 3月 22日

事業所名 みっけ・みっけフレンド・みっけクラブ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			法令に遵守している。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			バリアフリーではないが大きな段差等はない。扉を開け放したり、物を置かない事で広く使っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			個別支援計画に基づき全スタッフが参加し定期的に支援内容を見直している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			アンケート調査また定期的に面談を実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			この自己評価表をホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は行っていないが、今後実施していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			該当職員に対し研修等を行っている。また社内にて定期的に項目を設け行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			保護者様と面談や電話での聞き取りで、ニーズを把握し、支援計画に反映できるよう努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			標準的なアセスメントシートのほか必要項目を追加。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			全スタッフで役割分担し共通理解のもと立案。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			活動のマンネリを防ぐ為、活動内容や教材を工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			祝日、長期休みは外出行事、クッキング等、普段と違った内容で支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			子どもの特性や状況に合わせて活動内容に配慮している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎朝行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			集団・個別支援内容を個々に合わせ配慮し、状況に応じ見直しや変更を行う。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			支援計画の目標に沿って記録し、検証・改善を行う。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			計画的に実施している。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			ガイドラインに沿って支援している。
	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達支援管理責任者の他、必ず一名参加している。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			可能な限り関わるスタッフが参加し情報を共有している。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			現在医療ケアを必要とする児童の利用は無いが、てんかんや服薬等の病理的な情報共有を密にし、必要に応じ、協力医と連携していく。
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			必要に応じて情報共有し支援計画に繋げている。
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			小学生の利用児が多いが、高学年の利用児には、卒業後スムーズに移行できるよう情報を提供している。
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			研修に参加しスキルアップを図っている。
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		100%		コロナ禍の為、現在交流は行っていない。機会があれば保護者へ声かけし参加していく。
	⑩⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			参加している。
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			定期的に面談し、支援計画の目標設定など共通理解を深めている。
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			事業所内でできた事など都度説明し、無理なく取り組める場合、対応方法など勧められている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に説明し、不明な点がある場合は随時説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			不安や悩みは随時対応を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			コロナ禍で大きな保護者会は開催できていないが、希望により少人数の保護者会は行っている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情があった場合、解決に向けて適切に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			毎月事業所内のお知らせや活動内容などを掲載したおたよりを発行している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100%			取り扱いについては十分注意し、保護者への同意のもと実施している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			個々の状況に合わせ配慮している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%		現在行っていないが保護者からの要望があれば検討していく。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			地震や火事を想定し、定期的に避難訓練を実施している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			定期的に社内研修を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			身体拘束を行った事はないが、やむを得ない場合は適切に手続きに則って行い、支援計画にも記載する。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			アレルギー調査を年一回行っている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			報告と対策を行い事故防止に繋げている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。